



Maria Esther Guzman

マリア・エステル・グスマン ギターコンサート

ロドリゴが「彼女こそセゴビアの後継者だ」と評した名手 スペインの名門音楽一家の流れを汲む、人呼んで「ギターの女王」

母方の家系は初代がオランダからスペインに移住し、スペイン王カルロス1世の聖歌隊に入り活躍したというスペインの名門音楽一家。この名家の8代目に当たるマリア・エステルはセビーリャに生まれ、4歳で同地のロペ・デ・ベガ劇場でデビュー。8歳からセビーリャ音楽院でアメリカ・マルティネスに師事。11歳でスペイン国営放送局主催の音楽コンクールで優勝し、12歳の時に巨匠アンドレス・セゴビアにその演奏を讃えられた。

アンドレス・セゴビア国際ギターコンクールでの優勝をはじめ、国際コンクールで10回以上の優勝・入賞歴を持つ。作曲家ホアキン・ロドリゴは、彼女の弾く「アランフェス協奏曲」を聴き、「セゴビアの後継者の誕生」とその才能を褒め讃えた。ヨーロッパ、アジア、アメリカの主要なホールにて演奏、また各地の著名オーケストラとも共演している。1992年のセビーリャ万博の際にも演奏。1994年アンダルシア音楽賞、また、「フリアン・アルカス」のCDで音楽誌「リズム」より特別音楽賞を受賞。1998年にはセビーリャ音楽協会より、音楽家生活25周年（銀婚式）を表彰された。

現在、演奏活動の傍ら、サン・フランシスコ・デ・パラウ音楽院にて教鞭をとり、海外でも多くのマスタークラスを行っている。2002年にセビーリャのサンタ・イサベル・デ・フングリア王立アカデミーの会員に任命。最近では、バレンシア音楽堂にて芸術文化功労賞を受賞し、2012年末にはリナレス市のアンドレス・セゴビア財団よりメダルを授与されている。

これまでに1枚のレコード、26枚のCD、4本のビデオ、DVD「レイエンダ〜伝説〜」など多数。自身の編曲による楽譜集も出版している。1988年より定期的に来日。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

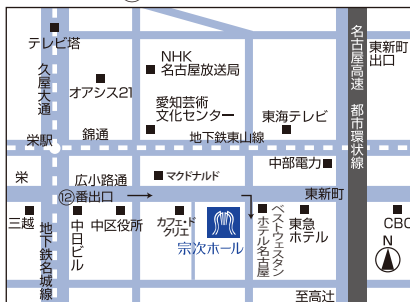
宗次フレンズ 会員募集中!!

宗次ホールは
会員登録していただいた方に毎月無料で
新作チラシをご自宅にお届けします。

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

■交通アクセス
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分




宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsughall.com
URL www.munetsughall.com

宗次ホールチケットセンター

営業時間:10:00~18:00
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)